

子どもを育てる地域の力 ～蛭川の「杵振り踊り」～

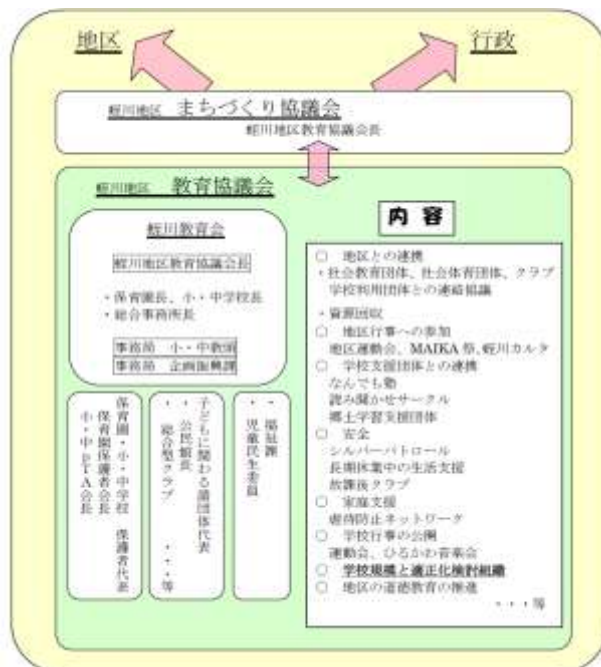
学校名	中津川市立蛭川中学校	対象学年	全校生徒
支援活動内容	郷土学習「杵振り踊り」の指導		

地域や学校の願い

- 明治初期の「勤^{きん}彊^{きやう}義^ぎ校^{こう}」に名を発し、昭和初期の「勤^{きん}彊^{きやう}義^ぎ塾^{じゆく}」から蛭川の地域住民の生きる指針として受け継がれている「勤^{きん}勉^{べん}彊^{きやう}直^{ちよく}」（真面目にへこたれずに取り組むという意味）の精神は、折に触れて地域の方の口から発せられ、学校の校訓にもなっている。
- 地域を担う次世代の育成は地域でという思いが強く、郷土学習においても、惜しまずに協力をしてもらえる地域である。
- 時代が変わり職員が変わっても、不滅の校訓として輝く「勤^{きん}勉^{べん}彊^{きやう}直^{ちよく}」を大切にし、保護者・地域・関係諸機関と連携して蛭川ならではの教育を推し進め、地域の期待に応えたい。そのひとつが、県の重要無形民俗文化財「杵振り踊り」についての郷土学習である。

コーディネーターの関わり方

- 学校と杵振り踊り・お囃子両保存会等との連絡調整を行っている。
- 地域ぐるみの教育の在り方の意見交流を図り、保・小・中の一貫した指導に反映していくため、平成21年度から、蛭川地区の教育課題を検討し解決する場として、蛭川地区教育協議会を設置している。（右図参照）



活動の工夫や効果

- 1学年は、「杵振り踊り」について学習し、全校生徒が踊りとお囃子を体育祭で披露する。
- 正確な踊りとお囃子ができるように、次の手順を踏んでいる。「部活単位で3年生による1・2年生への講習会」→「杵振り踊り・お囃子両保存会による指導」→「全体を通しての練習（体育大会前）」→「体育大会の種目・杵振り踊り」
- 毎年4月に行われる地域行事「杵振り祭り」では、3年生女子がお囃子の横笛で参加している。
- 教えてくださった地域の方だけでなく、教わった生徒たちも継承に喜びを感じ、地域を大切に、地域に誇りを持って生きる生徒の育成につながった。
- 地域の方が普段の生活の中で生徒たちに声をかけることや、もっと学校と関わりたいと思う気持ちが増え、「学校と地域のつながり」が深まり、「地域の教育力」がさらに高まった。

